

## 第2次千葉市文化芸術振興計画 1次評価シート

|               |                           |                                   |     |
|---------------|---------------------------|-----------------------------------|-----|
| <b>基本施策名</b>  | 基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」 |                                   |     |
|               | (2)参加・体験活動の推進             |                                   |     |
| <b>事業名</b>    | 市民ギャラリー・いなげ講習会「白井綾写真講座」   |                                   |     |
| <b>実施主体</b>   | 指定管理者                     | (名称) 公益財団法人千葉市教育振興財団千葉市民ギャラリー・いなげ |     |
| <b>市との関わり</b> | その他                       | 指定管理者                             |     |
| <b>市担当課</b>   | 文化振興課                     | (連絡先)                             | (内) |

|             |             |   |                |         |           |
|-------------|-------------|---|----------------|---------|-----------|
| <b>事業概要</b> | <b>開始年度</b> | 平成31年度  |                |         |           |
|             | <b>事業費</b>  | (予算) 市:   | その他: 31千円      | (決算) 市: | その他: 29千円 |
|             | <b>内容</b>   | 千葉市出身の写真家・白井綾氏を講師に招き、千葉市民ギャラリー・いなげ周辺地域を、受講生自身の視点(テーマ)で撮影することを学ぶ。撮影後は写真の鑑賞と講習会も行い、講師より個々の受講生へアドバイスもいただく。   |                |         |           |
|             | <b>目的</b>   | 年代を問わず身近なメディアとなったカメラを用いた写真撮影講座を開催することで、芸術表現に親しむ機会を提供する。   |                |         |           |
|             | <b>目標</b>   | (数値) 参加者15名   | (昨年度) 参加者: 10名 |         |           |
|             | <b>ねらい</b>  | (対象)中学生～一般<br>(求める効果)<br>・一般的な写真講座ではカメラの技術的側面が注目されがちだが、「何をどう撮りたいか」自分のテーマを意識して撮影する写真表現の面白さを体験してもらうことで、写真表現に関心を持つ市民の裾野を広げる。<br>・幅広い年齢層が表現を通じて、互いに刺激を受けるなど交流できる機会にする。<br>・表現を通してギャラリーの位置する稲毛地域の魅力に触れる機会にもする。                                       |                |         |           |
|             | <b>実績</b>   | (アプローチ方法)<br>・気軽に参加できるようデジタルカメラだけでなく、スマートフォンでの参加も視野に入れて開催した。<br>・参加対象を大人だけでなく、中学生・高校生も参加可能とし、中高生の料金設定も行った。<br>・撮影前にガイダンスを行い、街中で撮影するときの様々な「視点」のヒントとして、講師が事前に撮影した作例等を多く紹介した。<br>・千葉市ゆかりの家・いなげや稲毛公園なども撮影会場とし、撮影前に海だった頃の稲毛の歴史や写真などを紹介し、テーマ設定の参考とした。 |                |         |           |
|             | <b>情報発信</b> | <input type="checkbox"/> 市政だより <input checked="" type="checkbox"/> HP <input checked="" type="checkbox"/> ポスター・チラシ <input checked="" type="checkbox"/> フェイスブック・ツイッター<br><input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 連携中学校への案内 )                   |                |         |           |

【評価指標】 4：妥当、3：ほぼ妥当、2：工夫により改善、1：見直し

|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| 1<br>基本<br>施策<br>との<br>適合  | (1)<br>妥<br>当<br>性   | <input type="checkbox"/> 1<br><input type="checkbox"/> 2<br><input type="checkbox"/> 3<br><input checked="" type="checkbox"/> 4                                   | <p>(評価の理由)</p> <p>若者からお年寄りまで多くの方が親しんでいる「写真」を学ぶ講座であることと、デジタルカメラだけでなくスマートフォンでの参加も可としたことで、より多くの市民が気軽に参加できる条件にした。また、写真のテーマ設定と表現に重きを置いた内容とすることで、カメラの専門的知識・技術のある・なしに関わらず学べる講座とした。こうしたことから基本施策(1)-2に沿っており、妥当といえる。</p>   |
|  | (評価に関連する数値等)   |   |  |
|  | (2)<br>達<br>成<br>度   | <input type="checkbox"/> 1<br><input type="checkbox"/> 2<br><input checked="" type="checkbox"/> 3<br><input type="checkbox"/> 4                                   | <p>(評価の理由)</p> <p>今回から新たに中学生の参加も可能としたことで、新規の若い参加者が大幅に増えた。しかし、大人の参加者の多くはリピーターの方であったことから、一般参加者の裾野を広げる工夫が必要と考えられる。</p> <p>アンケートの事由記述欄では「普段写真はとらないし、撮ったとしても記念なので、このように撮ったのは新鮮だった。」など写真表現への関心が講座前よりも高まったと思われる記述が多く見られた。</p>   |
| (評価に関連する数値等)   |  |   |  |
| (3)<br>波<br>及  | <p>(評価の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影場所を当館敷地内だけでなく、稲毛公園や千葉市ゆかりの家・いなげなど周辺地域まで広げることで、歴史ある地域の資源を活かしているといえ、「基本施策5(1)」にもつながる。</li> <li>・また、千葉市出身の写真家の方を講師に招いていることから「基本施策5(2)」にもつながる。</li> </ul> |   |  |
| 2<br>戦<br>略<br>的<br>な<br>視<br>点<br>・<br>基<br>本<br>姿<br>勢<br>と<br>の<br>適<br>合 | (1)<br>市<br>民<br>主<br>体  | <input type="checkbox"/> 1<br><input type="checkbox"/> 2<br><input checked="" type="checkbox"/> 3<br><input type="checkbox"/> 4                                   | <p>(評価の理由)</p> <p>今回の講座では自分が普段から使用しているカメラやスマートフォンでの参加が可能であったことから、写真表現の間口を広げ、受講後も日常的に写真表現に親しんでもらえる可能性がある。実際にアンケートの事由記述には「学んだことを実際に次、写真を撮った時に使いたいと思っている。」「…家でもどんどん撮ってみたい。」など意欲的な感想が得られた。また、カメラの知識を持つ大人の受講生でより専門的に学びたい方に対しては、千葉大学で神野真吾准教授が開講する写真の授業「アーティストと展示をつくる」(学生だけでなく地域の一般参加も可能)をご案内することで、継続的に写真表現を学ぶ機会の提供につなげた。</p> |
|  | (評価に関連する数値等)   |   |  |
|  | (2)<br>こ<br>ど<br>も<br>・<br>若<br>者  | <input type="checkbox"/> 1<br><input type="checkbox"/> 2<br><input checked="" type="checkbox"/> 3<br><input type="checkbox"/> 4                                   | <p>(評価の理由)</p> <p>これまで参加対象を大人のみとしていたが、今年度より中学生・高校生の参加も可とし、さらに中・高生限定の料金設定(通常1500円、中高生500円)とスマートフォンも参加対象とすることで、気軽に講座に参加してもらえるような工夫をした。</p>   |
| (評価に関連する数値等)   |  |   |  |
| (3)<br>領<br>域<br>の<br>広<br>が<br>り  | <input type="checkbox"/> 1<br><input type="checkbox"/> 2<br><input checked="" type="checkbox"/> 3<br><input type="checkbox"/> 4  | <p>(評価の理由)</p> <p>・講座後半に撮影した写真の講習会を実施することで、幅広い年齢層の参加者がお互いの視点や感覚の違いが感じられたのではないかと。アンケート集計結果でも「他の人が撮った物を見るのは楽しい」「自分とは感じ方が違うな」などの感想も得られ、多様な価値観に触れる機会を提供できたと考えられる。</p> |  |
| (評価に関連する数値等)   |  |   |  |
| <p>中高生の応募人数：12名(内高校生1名は当日欠席)</p>   |  |   |  |

|   |         |              |   |   |
|---|---------|--------------|---|---|
| 3 | 事業のねらい  | (1) 妥当性      | <input type="checkbox"/> 1<br><input type="checkbox"/> 2<br><input type="checkbox"/> 3<br><input checked="" type="checkbox"/> 4 | <p>(評価の理由)</p> <p>高度な機能を搭載したカメラを所有するアマチュアカメラマンの参加が中心にならないよう、参加条件や講座内容を考慮したことで、基本施策1(2)の芸術表現に関心を持つ市民の裾野を広げることと繋がり、妥当であったと考えられる。また、稲毛の特徴ある地域を会場とすることで基本施策5(1)にも適合する。</p>  |
|   |         | (2) アプローチ    | <input type="checkbox"/> 1<br><input checked="" type="checkbox"/> 2<br><input type="checkbox"/> 3<br><input type="checkbox"/> 4 | <p>(評価の理由)</p> <p>・スマートフォンも参加対象としたことで、実際に多くの中学生の参加があった。しかし、中学生11名はすべて同じ中学校からの参加であった。また、前述のように大人の参加者についてはリピーターの方が中心であったことから、写真表現に親しむ市民の裾野を広げるためには、後述の宣伝方法も含め、講座に興味を持ってもらうための工夫が必要と考えられる。</p> <p>・講座内容に関しては、事前のガイダンスで多くの作例を紹介することで、写真表現で様々なテーマの設定が可能であることを示すことができた。アンケートのコメントでも中学生からは「写真を撮るということは、きれいに见せるだけではないのだと感じた」やカメラ経験のある大人も「自分の意思を表すのは難しかった」といった感想が得られ、ねらいに沿ったアプローチであったと考えられる。</p> |
|   |         | (評価に関連する数値等) |   | スマートフォンでの参加：16名中6名  |
| 4 | 市民との関わり | (1) 満足度      | <input type="checkbox"/> 1<br><input type="checkbox"/> 2<br><input checked="" type="checkbox"/> 3<br><input type="checkbox"/> 4 | <p>(評価の理由)</p> <p>アンケートの結果、講座内容に対して15名中15名から「おもしろかった」と回答が得られた。具体的な記述からは「2度の受講だが毎回楽しめる。来年もぜひ受講したい。」といったコメントも見られ、満足度は高いものと思われる。事業のねらいに対しては、写真を撮るときに「テーマ」を考えて意識的になることがこれまでなかったので、今後活かしたいという感想が多数得られた。しかし、わずかに「なかなかテーマが決まらなかったのであまり良い紹介ができなかった。」というコメントが見られたので、参加者への個別のフォローの仕方を次回以降検討したい。</p>   |
|   |         | (2) 周知度      | <input type="checkbox"/> 1<br><input checked="" type="checkbox"/> 2<br><input type="checkbox"/> 3<br><input type="checkbox"/> 4 | <p>(評価の理由)</p> <p>今回、市政だよりでの掲載がなく、当館のホームページと窓口、関連施設でのチラシ・ポスターの掲出と限られた宣伝方法に留まったため、一般の参加が5名のみで、さらに5名中3名がリピーターの方であったことから、今後は新規の応募者が見込める効果的な宣伝方法を検討する必要がある。また、中高生への宣伝については、今回は当館と連携している中学校と高校の先生へ案内した結果、中学校1校から多数の生徒が応募してくれた。学校によっても写真に対する関心の差があると考えられるので、チラシの文言なども工夫する必要があるかもしれない。</p>   |
|   |         | (評価に関連する数値等) |   |   |

|              |                                   |  |  |
|--------------|-----------------------------------|--|--|
| 5<br>効<br>果  | (1)<br>活<br>動<br>の<br>活<br>性<br>化 | <input type="checkbox"/> 1<br><input checked="" type="checkbox"/> 2<br><input type="checkbox"/> 3<br><input type="checkbox"/> 4  | (評価の理由)撮影した写真の講評会において、講師から受講生一人一人に対して、よい部分をほめると同時に「このようなテーマで撮るなら、このような別のアプローチもある」といった具体的なアドバイスをしてもらった。その結果、受講生が1日の講座だけで満足することなく、今後の撮影意欲を高めることができたと考えられる。また、以前より千葉大学教育学部芸術学研究室と連携しており、同研究室の神野准教授が開講する写真の授業「アーティストと展示をつくる」において当館は一般参加者の窓口を担っている。こうした経緯から、本講座でより深く写真を学ぶ意欲のある大人の受講生に対しては、同授業を案内することができ、結果実際に1名が同授業を受講され、文化芸術活動の支援に繋げることができた。しかし、中高生に対する講座開講後のサポートはできず、学校教育においても写真やカメラを用いた授業が少ないことから、今後の課題となった。 |
|              |                                   | (評価に関連する数値等)<br>・アンケート自由記述欄より：「面白かった。普段、気にして写真を撮る機会はなかなかなかったが、自分の意志を表すのは難しい。ありがとうございました。」「…学んだことを実際に次、写真を撮った時に使いたいと思った。」<br>・大人の参加者5名のうち、1名が千葉大学の授業「アーティストと展示をつくる」を受講。 |  |
|              | (2)<br>費<br>用<br>対<br>効<br>果      | <input type="checkbox"/> 1<br><input checked="" type="checkbox"/> 2<br><input type="checkbox"/> 3<br><input type="checkbox"/> 4  | (評価の理由)<br>・中高生の料金を設定したことと、一般参加者が少なかったことから受講料による収入が支出に対して不足したため、今後収入確保の工夫が必要と考えられる。  |
|              |                                   | (評価に関連する数値等)<br>受講料による収入：11500円    支出：28846円    収支：△17346円   |  |
|              | (3)<br>そ<br>の<br>他<br>の<br>効<br>果 | <input checked="" type="checkbox"/>  | (評価の内容) ※上記(1)(2)以外の効果があった場合のみ記載（地域活性化等なんでも可）  |
| (評価に関連する数値等) |                                   |  |  |